

国分寺第2小学校、ひかり第2児童クラブ視察 まとめ

1. 国分寺市の状況

受け入れ:基本3年生までで、障害児のあるお子さんは中学生まで入所可能

開所時間:8時～19時

当初は、民間のみ19時まで開所していましたが現在はすべての学童が19時までのため延長料金の発生はない。

ただし、17時以降は保護者のお迎えが必須とのこと。

感染症発生により学級閉鎖時の対応:開所せず

*以前は、開所していたが感染拡大があり開所しないことになったと。

2. ひかり児童クラブ概要

小学校敷地内に第1児童クラブ、小学校に隣接する児童館内の育成室が第2児童クラブとなっている。

第1児童クラブ:70名程の児童の登録があり、第2よりも2年早くワーカーズコープが指定管理者として受託。

民間移管時は引き継ぎ期間はなかったが当時、児童数13名だったため問題はなかったと。

第2児童クラブ:77名(障害児7名うち中学生3名)の児童の登録がある。

職員体制は、5名+加配1対1

指定管理者制度、5年目を迎えているため現在、来年度への受託継続のためプロポーザルにむけて準備中。それにより通常業務に支障のないよう、配慮しながら準備をしている。

児童館併設で児童館職員も同業者のためお互い連携し、両方で子どもを見守っており、とても手厚いと感じました。

また、市内数ヶ所の学童運営しており、職員体制が厳しいとお互いに補充しあいながら保育できていると。

3. 民間移管について

- ・職員の移行:公営時の職員が受託業者へ、3～4名移行したため引継ぎがスムーズだった。
- ・引き継ぎ期間:業者決定後、公立職員と2ヶ月間業務に関する引き継ぎをし、その後実際に業務に入りながらの引き継ぎを4ヶ月間行った。
 - *ただし、児童館業務についての引き継ぎもあったためこの長期間、とってもらえたんだろうとの施設長さんの話でした。
- ・引き継ぎ期間が充分あったため、公立職員とも関係がよく、移管後もスムーズに連携がとれているとのこと。
- ・委託1年目は子どもの怪我やトラブルが多く保護者との連携がとても重要だったとのことでした。
- ・移管後は、公立時には行えていなかった職員全体でのミーティングが充分に行えるよ

うになり、子どもとより良くかかわりをもてるようになった。

4. 連携

- ・他学童職員 : 公私合同の会議があり、情報共有をしっかりと行っている。
- ・第一。第二 : 同経営者のため合同行事などで子どもたち同士の交流がある。
- ・父母会 : 父母会主催の行事はないが、学童、児童館行事の協力をしてもらっている。また、市への要望等の際、職員にも要望の確認を父母会がして伝えてくれて、環境改善につながっている。
- ・学校 : 年2回の会議をもち連携をはかり、その他何かあれば連携をとりあっている。